

木曾岬干拓地土地活用庁内会議における木曾岬干拓地の都市的土地利用の方向性（令和 3 年度検討状況）

1 土地活用に係る規制・課題の整理

土地利用の検討にあたっては、法的な規制や立地状況などの課題をふまえる必要があることから、商業利用、工業利用、住宅利用のケースにおける規制・課題について整理を行いました。（別表）

2 都市的土地利用の方向性の検討

木曾岬干拓地は、四日市港、名古屋港、高速道路に近く、まとまった面積を有し、高いポテンシャルを有する土地であるとの共通認識のもと、幅広く土地利用の方向性案を検討しました。

（委員からの意見）

- ・ロボット・AI・自動運転等の先端技術を実際の生活環境の中に導入・検証する実験都市の可能性。
- ・完全自動運転トラック等次世代モビリティに対応した次世代基幹物流施設の可能性。
- ・土地利用の方向性を幅広く検討するためには、現在の法的規制の状況やインフラ等の整備状況を把握したうえで、個々の土地利用に応じた課題の整理が必要。